

提供日 2018/3/26(月)
タイトル 県立こども病院 MRIを更新しました
担当 こども病院 医療サービス課企画サービス係 川原
連絡先 こども病院 医療サービス課企画サービス係 川原
TEL 054-247-6251



～ともにつくる 信頼と安心の医療～

県立こども病院 MRIを更新しました

(要旨)

県立こども病院では、小児専用設計のMR I（磁気共鳴断層撮影装置）を更新し、3月1日から運用を開始しています。MR I検査は磁気の力を利用し臓器や血管を撮影するもので、特に、脳や脊髄などに生じた病変を発見するのに有用な検査です。

小児専門病院のMR I検査においては、機械音が大きい等、子どもが長時間じっとしてられないことから、薬によって眠った状態、もしくは全身麻酔を施す場合が多くあります。

今回の更新により、小児専用設計の機器を導入し検査水準の向上を図りました。また併せて麻酔室も検査室前室内に整備し、成人病院では対応の困難な小児に対するMR I室内での麻酔もより安全に行えるようになりました。

1 更新の効果

(1) 医療水準の向上

小児専用設計の撮像機（コイル）を県内初導入し、細密な画像描出、血行動態の把握、組織を質的な把握を可能とするなど、医療水準の向上に寄与。

(2) 検査時間の短縮

装置の出力・感度・計算能力が向上したことにより、検査時間が短縮し、撮影可能件数が増。（更新前：H28実績7.6件/日⇒更新後（見込）：8.5件/日）

(3) 安全性の確保

- ・小児専門病院の特性として、MR I検査の実施時には、40%の患者に鎮静をかけ、その内25%の患者には全身麻酔（挿管による呼吸管理を要する）をかけて行っている。
- ・今回のMR I更新にあたり、検査室前室内に麻酔室を県内主要病院では初めて設置したことで、従来別棟手術室で行われていた検査時の全身麻酔のリスク（麻酔時間が長時間になること、移動中に覚醒すること、挿管位置がずれてしまうこと等）が大幅に低減する。
- ・強力な磁場があるMR I室内においても使用できる特別設計のバイタル監視装置、監視カメラ（増設）、薬剤持続注入装置を導入し、より安全な検査を可能とした。
- ・MR I自体の静音化に加え、検査中に映像・音声が楽しめるよう、MR I対応の液晶モニタ、ヘッドホンを設置した。これにより患者の苦痛軽減や体動による検査中止のリスク低減が見込まれる。

2 その他

取材いただける場合は、診療時間等により制限がありますので、県立こども病院 医療サービス課企画サービス係 川原（TEL:054-247-6251、内線2400）まで事前にご連絡をお願いします。